


保健所管理栄養士政策能力向上シンポジウム 実施報告

開催期日	平成20年1月25日（金）10：30～16：00
会 場	独立行政法人 国立健康・栄養研究所
参加者	***名
内 容	<p>◆開会 主催者挨拶</p> <p style="text-align: center;">財団法人日本公衆衛生協会 理事長 北川定謙</p>  <p>◆基調講演</p> <p style="text-align: center;">「健やか生活習慣国民運動における保健所管理栄養士への期待」 講師：厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室長 関英一</p> <p>〈概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の健康づくりを推進するため、「健康日本21」で健康寿命の延伸を目指しており、結果的に医療費の抑制につながるものである。医療費の削減のため、都道府県には「医療費適正化計画」の作成が求められているが、その他にも「がん基本計画」や「介護保険計画の見直し」なども求められており、これらの計画の連携を図りながら作業を進める必要があることから、都道府県には総合調整能力が求められていることを説明されました。 ・また、このたびの医療制度改革では医療保険者に健診が義務づけられたが、特定健診・保健指導をどう立ち上げるかに力を入れがちであるが、全体の底上げ（ポピュレーションアプローチ）の必要性についても説明されました。 ・さらに、自分たちが社会全体の中で何を担っているのかを考えて取り組むことが必要である。そして、現在はエビデンスが求められることから、これからの活動では、栄養指導・栄養管理についてのエビデンスを蓄積し欲しいと、保健所管理栄養士への期待を講演されました。 <p style="text-align: right;">（文責：焔硝岩）</p> <p>◆シンポジウム</p> <p style="text-align: center;">「健康危機管理時の管理栄養士の地域ネットワーク構築」</p> <p>座 長 全国保健所長会副会長・愛知県半田保健所長 澁谷いづみ</p> <p>助言者 独立行政法人国立健康・栄養研究所企画評価主幹 吉池信男</p> <p>発表者 「新潟県中越沖地震における栄養・食生活支援について」 新潟県柏崎保健所主査 土田直美</p> <p style="text-align: center;">「特定給食施設の相互ネットワークについて」 兵庫県立淡路病院栄養指導課長 村上久佳</p> <p style="text-align: center;">「災害時における陸上自衛隊の給食支援について」 防衛省陸上幕僚監部装備部需品課</p>

糧食班糧食管理担当2等陸佐 二見光俊
「健康危機管理時の栄養・食生活支援ガイドラインの検証」
石川県健康福祉部少子化対策監室
子育て支援課専門員 濱口優子



◆情報交換

「全国保健所管理栄養士会総会」

◆閉会